

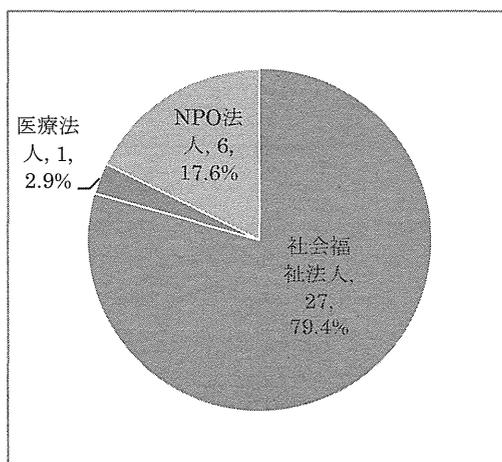
1 1) 所属事業所の法人種別

社会福祉法人が 27 名 (79.4%)、医療法人が 1 名 (2.9%)、NPO 法人が 6 名 (17.6%) となっており、社会福祉法人の割合が最も高くなっていた。

表 1 1 法人種別

	度数	パーセント
社会福祉法人	27	79.4
医療法人	1	2.9
NPO法人	6	17.6
合計	34	100.0

図 1 1 法人種別



1 2) 所属事業所に勤務する相談支援専門員の人数

常勤では、1 人が 7 名、2 人が 7 名、3 人が 11 名、4 人が 8 名、5 人が 1 名となっており、3 人の割合が最も高くなっていた。

一方、非常勤では、0 人が 6 名、1 人が 3 名、2 人が 3 名、3 人が 1 名となっており、0 人の割合が最も高くなっていた。

表 1 2 所属事業所に勤務する相談支援専門員の人数

(常勤)

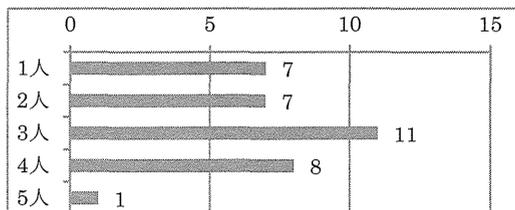
	度数
1人	7
2人	7
3人	11
4人	8
5人	1

(非常勤)

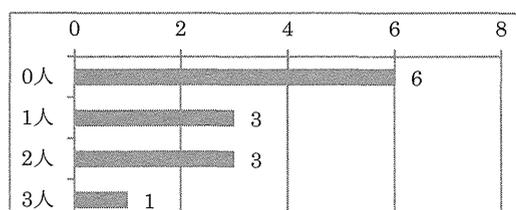
	度数
0人	6
1人	3
2人	3
3人	1

図 1 2 所属事業所に勤務する相談支援専門員の人数

(常勤)



(非常勤)



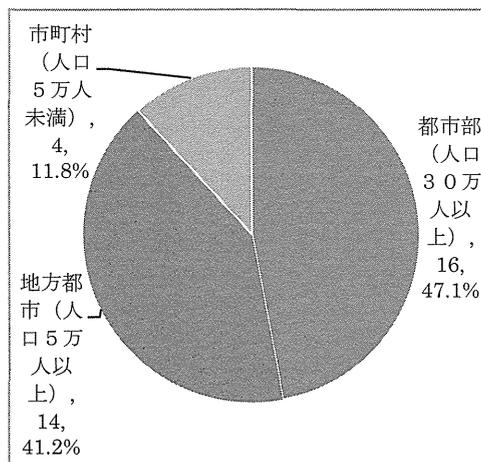
1 3) 所属事業所がある地域の規模

都市部(人口30万人以上)が16名(47.1%)、地方都市(人口5万人以上)が14名(41.2%)、市町村(人口5万人未満)が4名(11.8%)となっており、都市部の割合が最も高くなっていた。

表 1 3 地域の規模

	度数	パーセント
都市部(人口30万人以上)	16	47.1
地方都市(人口5万人以上)	14	41.2
市町村(人口5万人未満)	4	11.8
合計	34	100.0

図 1 3 地域の規模



(2) 調査対象となる利用者について

調査対象となる利用者については20歳代から50歳代までが中心となっており、男性で家族同居の割合が高くなっていた。

障害種別は3障害でばらけており、身体障害者手帳は1級、療育手帳は中軽度、精神保健福祉手帳は2級の割合が高くなっていた。

障害程度区分は区分3と区分6の割合が高くなっており、相談支援事業利用開始時から見ると現在までの間で大きな変化は見られなかった。

相談支援事業を利用するに至った経路としては来所の割合が高くなっていた。

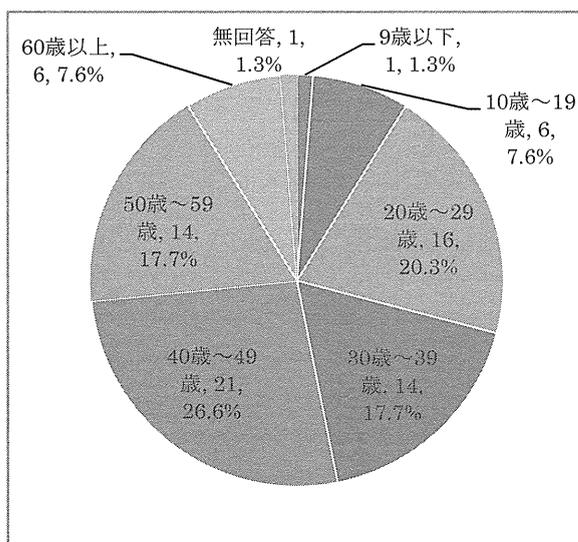
1) 年齢

9歳以下が1名(1.3%)、10歳から19歳が6名(7.8%)、20歳から29歳が16名(20.3%)、30歳から39歳が14名(17.7%)、40歳から49歳が21名(26.6%)、50歳から59歳が14名(17.7%)、60歳以上が8名(7.6%)となっており、20歳代から50歳代までで全体の8割以上を占めていた。

表 1 4 年齢

	度数	パーセント
9歳以下	1	1.3
10歳～19歳	6	7.6
20歳～29歳	16	20.3
30歳～39歳	14	17.7
40歳～49歳	21	26.6
50歳～59歳	14	17.7
60歳以上	6	7.6
無回答	1	1.3
合計	79	100.0

図 1 4 年齢



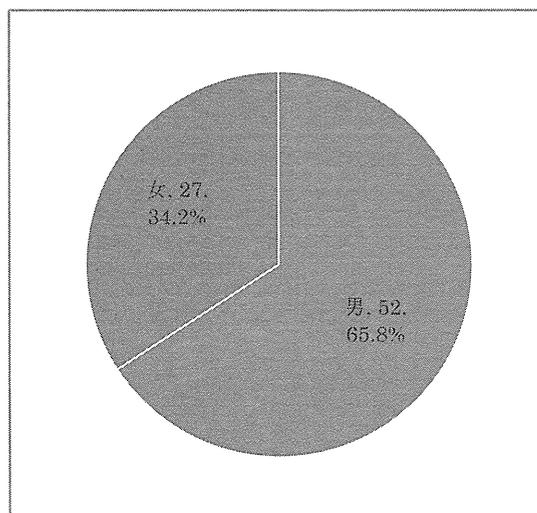
2) 性別

男性が 52 名 (65.8%)、女性が 27 名 (34.2%) であり、2:1 の割合で男性が女性よりも多くなっていた。

表 1 5 性別

	度数	パーセント
男	52	65.8
女	27	34.2
合計	79	100.0

図 1 5 性別



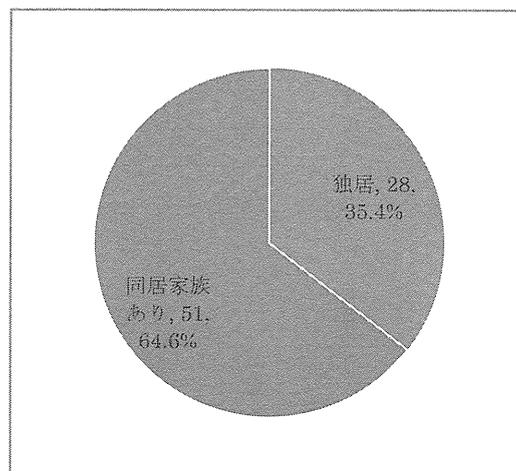
3) 現在の家族状況

独居が 28 名 (35.4%)、同居家族ありが 51 名 (64.6%) であり、2:1 の割合で家族同居が独居よりも多くなっていた。

表 1 6 家族状況

	度数	パーセント
独居	28	35.4
同居家族あり	51	64.6
合計	79	100.0

図 1 6 家族状況



4) 現在の障害者手帳の種別・等級

身体障害者手帳が 23 名、療育手帳が 42 名、精神保健福祉手帳が 19 名となっていた（重複保持あり）。

また、身体障害者手帳では、1 級が 15 名、2 級が 3 名、3 級が 2 名、6 級が 3 名であり、療育手帳では、軽度が 15 名、中度が 16 名、重度が 11 名であり、精神保健福祉手帳では 1 級が 2 名、2 級が 14 名、3 級が 3 名であった。

このように、身体障害者手帳は 1 級、療育手帳は中軽度、精神保健福祉手帳は 2 級の割合がそれぞれ高くなっていた。

表 1 7 障害者手帳種別

	度数
身体障害者手帳	23
療育手帳	42
精神保健福祉手帳	19

図 1 7 障害者手帳

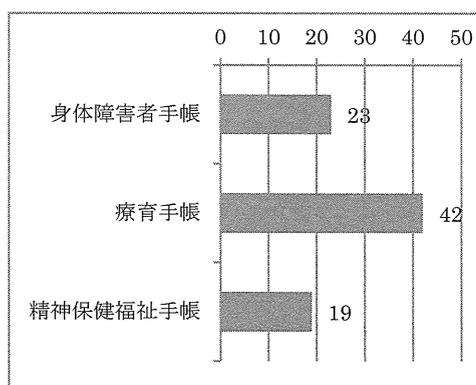


表 1 8 身体障害者手帳

	度数
1級	15
2級	3
3級	2
6級	3

図 1 8 身体障害者手帳

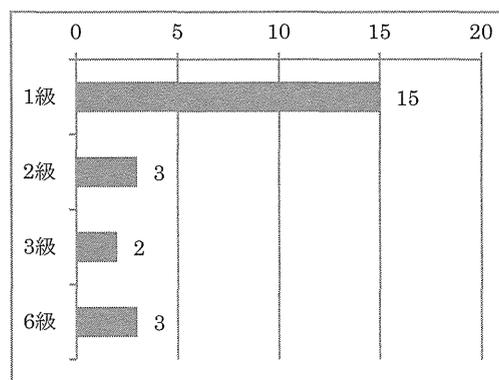


表 1 9 療育手帳

	度数
軽度	15
中度	16
重度	11

図 1 9 療育手帳

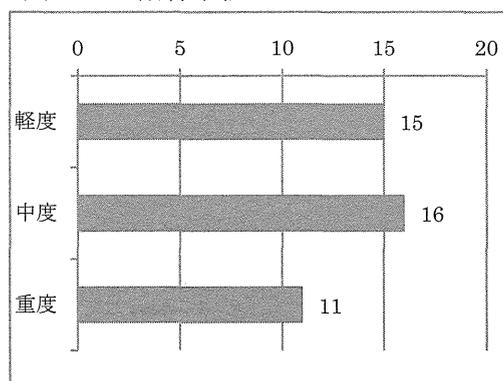
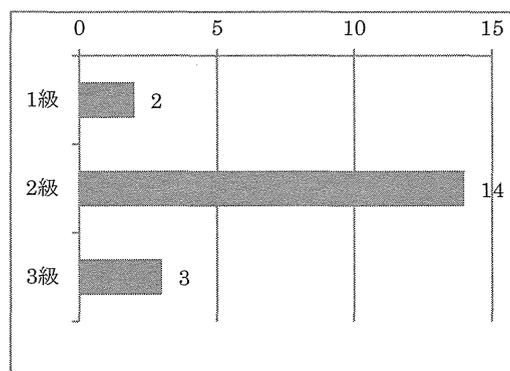


表 2 0 精神保健福祉手帳

	度数
1級	2
2級	14
3級	3

図 2 0 精神保健福祉手帳



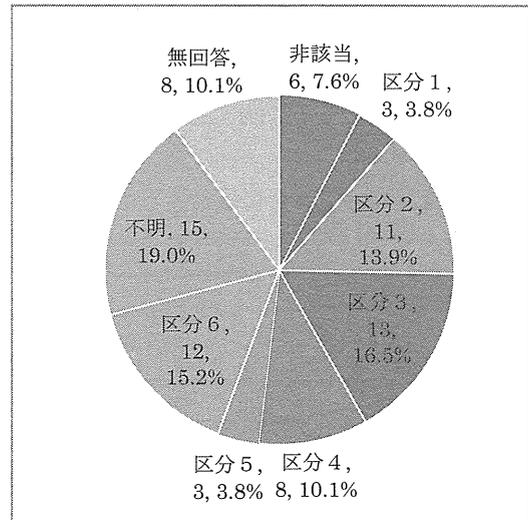
5) 現在の障害程度区分

非該当が 6 名 (7.6%)、区分 1 が 3 名 (3.8%)、区分 2 が 11 名 (13.9%)、区分 3 が 13 名 (16.5%)、区部 4 が 8 名 (10.1%)、区分 5 が 3 名 (3.8%)、区分 6 が 12 名 (15.2%) となっており、区分 3 と区分 6 の割合が高くなっていた。

表 2 1 障害程度区分

	度数	パーセント
非該当	6	7.6
区分1	3	3.8
区分2	11	13.9
区分3	13	16.5
区分4	8	10.1
区分5	3	3.8
区分6	12	15.2
不明	15	19.0
無回答	8	10.1
合計	79	100.0

図 2 1 障害程度区分



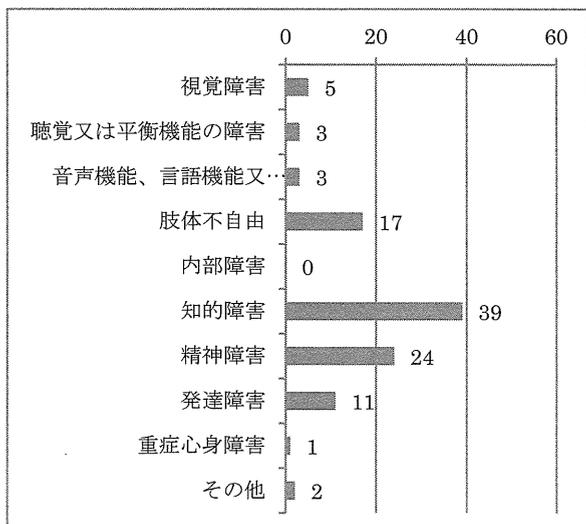
6) 対象利用者の現在の障害について

視覚障害が 5 名、聴覚または平衡機能の障害が 3 名、音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害が 3 名、肢体不自由が 17 名、知的障害が 39 名、精神障害が 24 名、発達障害が 11 名、重症心身障害が 1 名、その他が 2 名となっており、3 障害で見るとほぼ均一に数がばらけていた（重複あり）。

表 2 2 対象利用者の障害

	度数
視覚障害	5
聴覚又は平衡機能の障害	3
音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害	3
肢体不自由	17
内部障害	0
知的障害	39
精神障害	24
発達障害	11
重症心身障害	1
その他	2

図 2 2 対象利用者の障害



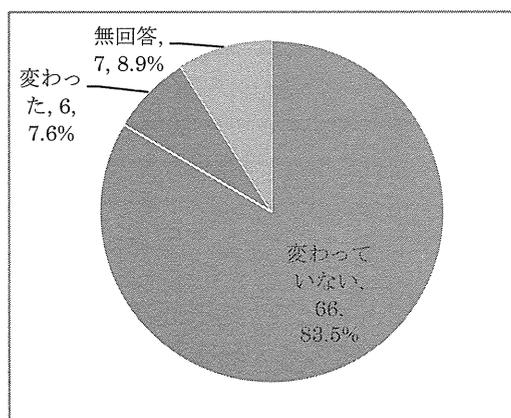
7) 障害程度区分の変化

変わっていないが 66 名 (83.5%)、変わったが 6 名 (7.6%) であり、相談支援事業利用開始時から現在までの間で障害程度区分に大きな変化は見られなかった。

表 2 3 障害程度区分の変化

	度数	パーセント
変わっていない	66	83.5
変わった	6	7.6
無回答	7	8.9
合計	79	100.0

図 2 3 障害程度区分の変化



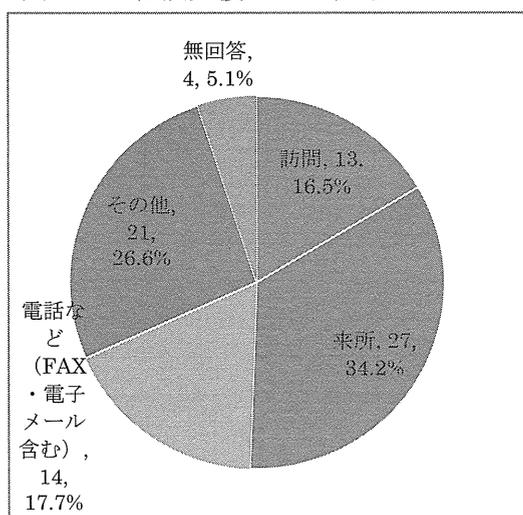
8) 相談支援に至る経路

訪問が 13 名 (16.5%)、来所が 27 名 (34.2%)、電話などが 14 名 (17.7%)、その他が 21 名 (26.6%) となっており、来所による割合が高くなっていた。

表 2 4 相談支援に至る経路

	度数	パーセント
訪問	13	16.5
来所	27	34.2
電話など(FAX・電子メール含む)	14	17.7
その他	21	26.6
無回答	4	5.1
合計	79	100.0

図 2 4 相談支援に至る経路



(3) 相談支援事業利用開始時と現在との利用者の状態について

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の変化については、ADL、健康管理、経済生活・経済環境、移動・交通機関の利用において大きな変化は見られなかったが、心理・精神面、周囲との関係面、全体から見た自立度については改善が見られる傾向にあった。

その中で、相談支援専門員自身による評価として、相談支援が利用者の変化に影響を及ぼす面としては、心理・精神面や周囲との関係面が多く挙げられる傾向にあった。また、その要因として、本人の意向を尊重し、緊急性の高いニーズに対応することの重要性が指摘される傾向にあった。

地域で暮らす力については、相談支援事業利用開始時と比べて地域で暮らす力があると評価され、施設入所は考えられていないと評価される傾向にあった。

また、具体的なサービス利用については、居宅介護（ホームヘルプ）、共同生活援助（グループホーム）、移動支援、近隣等インフォーマルサービスなどでサービス利用の増加がみられる傾向にあった。

1) ADL

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の ADL について、身辺処理、食事、入浴、排泄、家事の状況を比較したところ、全ての項目で大きな変化は見られなかった。

① 身辺処理に関して

相談支援事業利用開始時では、ひとりでできるが 28 名 (35.4%)、見守り・指示があればできるが 16 名 (20.3%)、少し手伝ってもらえばできるが 24 名 (30.4%)、全部やってもらっているが 9 名 (11.4%) であった。

一方、現在では、ひとりでできるが 29 名 (36.7%)、見守り・指示があればできるが 19 名 (24.1%)、少し手伝ってもらえばできるが 20 名 (25.3%)、全部やってもらっているが 8 名 (10.1%) であった。

このように、身辺処理に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

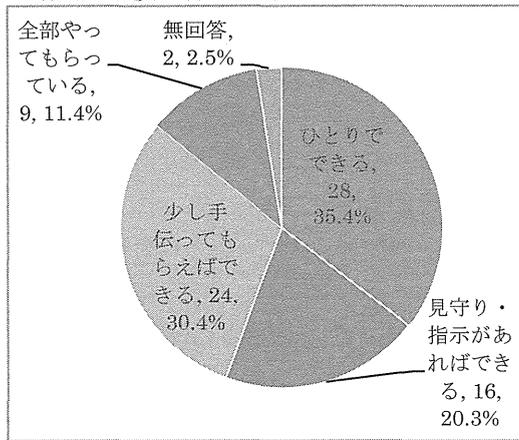
表 2 5 身辺処理に関して
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
ひとりでできる	28	35.4
見守り・指示があればできる	16	20.3
少し手伝ってもらえばできる	24	30.4
全部やってもらっている	9	11.4
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

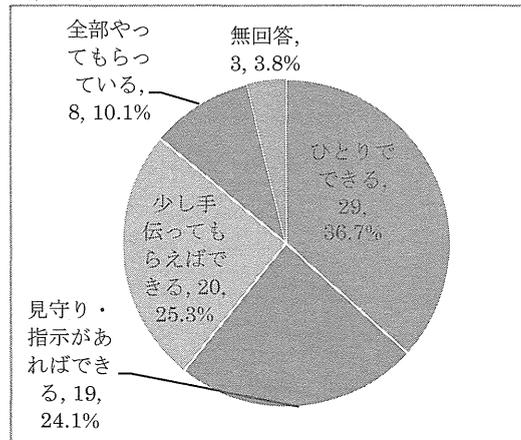
(現在)

	度数	パーセント
ひとりでできる	29	36.7
見守り・指示があればできる	19	24.1
少し手伝ってもらえばできる	20	25.3
全部やってもらっている	8	10.1
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

図 2 5 身辺処理に関して
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



② 食事に関して

相談支援事業利用開始時では、ひとりでできるが 40 名 (50.6%)、見守り・指示があればできるが 16 名 (20.3%)、少し手伝ってもらえばできるが 12 名 (15.2%)、全部やっってもらっているが 8 名 (10.1%) であった。

一方、現在では、ひとりでできるが 42 名 (53.2%)、見守り・指示があればできるが 15 名 (19.0%)、少し手伝ってもらえばできるが 11 名 (13.8%)、全部やっってもらっているが 9 名 (11.4%) であった。

このように、食事に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表 2 6 食事に関して
(相談支援事業利用開始時)

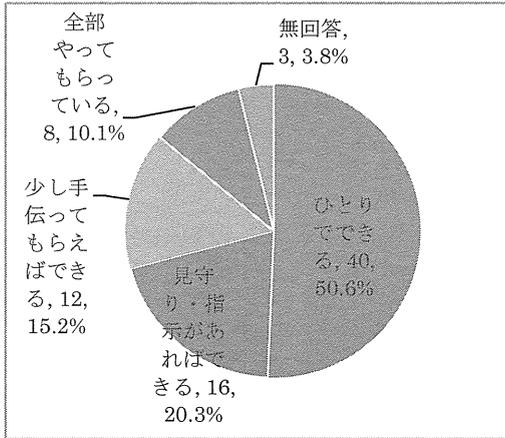
	度数	パーセント
ひとりでできる	40	50.6
見守り・指示があればできる	16	20.3
少し手伝ってもらえばできる	12	15.2
全部やっってもらっている	8	10.1
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

(現在)

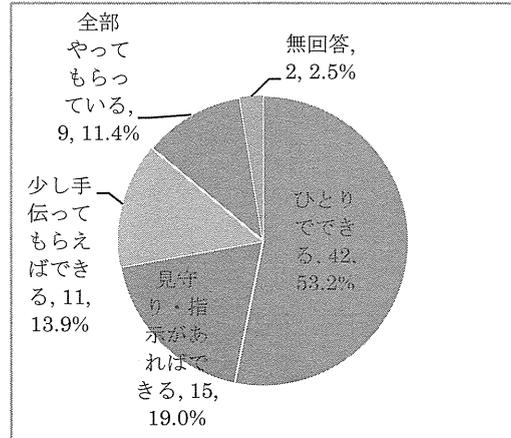
	度数	パーセント
ひとりでできる	42	53.2
見守り・指示があればできる	15	19.0
少し手伝ってもらえばできる	11	13.9
全部やっってもらっている	9	11.4
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図 2 6 食事に関して

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



③ 入浴に関して

相談支援事業利用開始時では、ひとりでできるが 38 名 (48.1%)、見守り・指示があればできるが 17 名 (21.5%)、少し手伝ってもらえばできるが 9 名 (11.4%)、全部やってもらっているが 13 名 (16.5%) であった。

一方、現在では、ひとりでできるが 38 名 (48.1%)、見守り・指示があればできるが 20 名 (25.3%)、少し手伝ってもらえばできるが 6 名 (7.6%)、全部やってもらっているが 13 名 (16.5%) であった。

このように、入浴に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表 2 7 入浴に関して

(相談支援事業利用開始時)

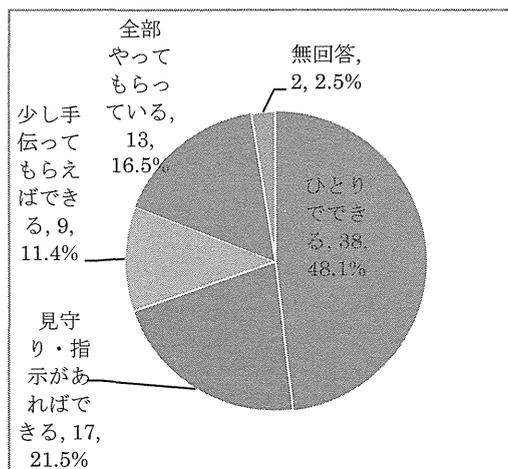
	度数	パーセント
ひとりでできる	38	48.1
見守り・指示があればできる	17	21.5
少し手伝ってもらえばできる	9	11.4
全部やってもらっている	13	16.5
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

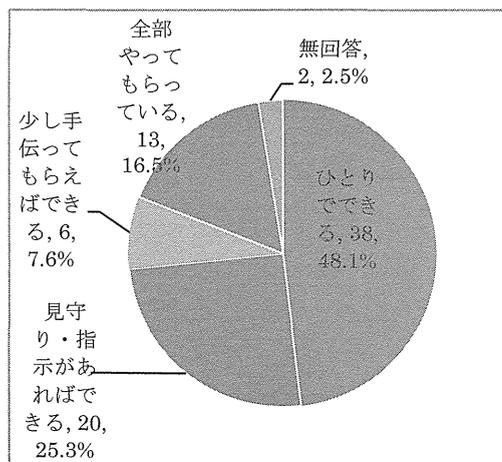
	度数	パーセント
ひとりでできる	38	48.1
見守り・指示があればできる	20	25.3
少し手伝ってもらえばできる	6	7.6
全部やってもらっている	13	16.5
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図27 入浴に関して

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



④ 排泄に関して

相談支援事業利用開始時では、ひとりでできるが55名(69.6%)、見守り・指示があればできるが6名(7.6%)、少し手伝ってもらえばできるが8名(10.1%)、全部やってもらっているが8名(10.1%)であった。

一方、現在では、ひとりでできるが54名(68.4%)、見守り・指示があればできるが8名(10.1%)、少し手伝ってもらえばできるが8名(10.1%)、全部やってもらっているが6名(7.8%)であった。

このように、排泄に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表28 排泄に関して

(相談支援事業利用開始時)

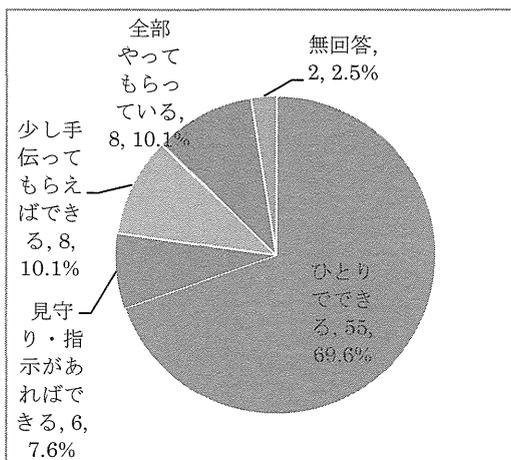
	度数	パーセント
ひとりでできる	55	69.6
見守り・指示があればできる	6	7.6
少し手伝ってもらえばできる	8	10.1
全部やってもらっている	8	10.1
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

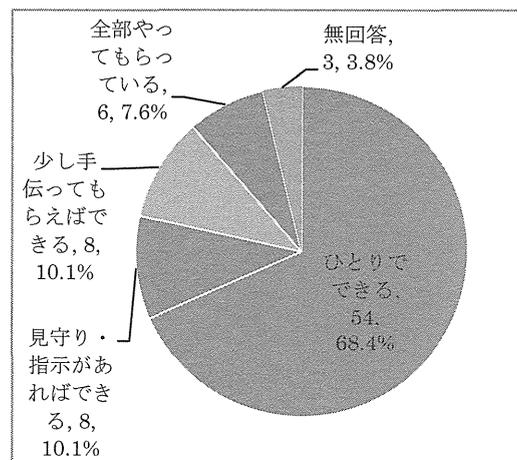
	度数	パーセント
ひとりでできる	54	68.4
見守り・指示があればできる	8	10.1
少し手伝ってもらえばできる	8	10.1
全部やってもらっている	6	7.6
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

図 2 8 排泄に関して

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



⑤ 家事に関して

相談支援事業利用開始時では、ひとりのできるが 11 名 (13.9%)、見守り・指示があればできるが 10 名 (12.7%)、少し手伝ってもらえばできるが 20 名 (25.3%)、全部やってもらっているが 36 名 (45.6%) であった。

一方、現在では、ひとりのできるが 9 名 (11.4%)、見守り・指示があればできるが 15 名 (19.0%)、少し手伝ってもらえばできるが 24 名 (30.4%)、全部やってもらっているが 28 名 (35.4%) であった。

このように、家事に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表 2 9 家事に関して

(相談支援事業利用開始時)

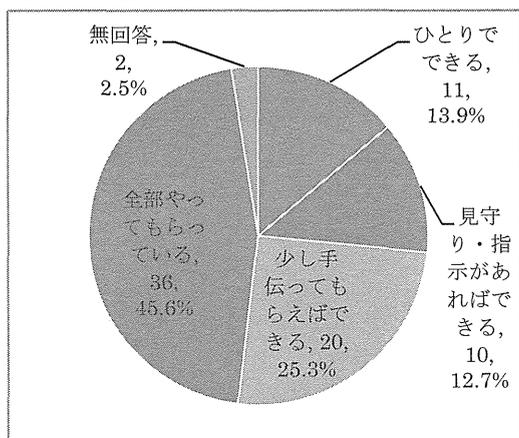
	度数	パーセント
ひとりのできる	11	13.9
見守り・指示があればできる	10	12.7
少し手伝ってもらえばできる	20	25.3
全部やってもらっている	36	45.6
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

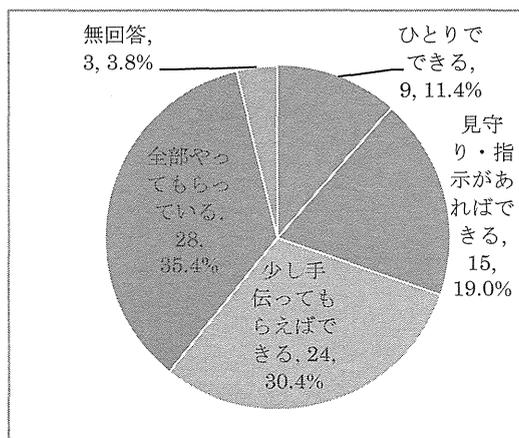
	度数	パーセント
ひとりのできる	9	11.4
見守り・指示があればできる	15	19.0
少し手伝ってもらえばできる	24	30.4
全部やってもらっている	28	35.4
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

図 2 9 家事に関して

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



2) 心理・精神面

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の心理・精神面について、生きがい・希望・好きなこと、精神面の安定の状況を比較したところ、全ての項目で改善が見られる傾向にあった。

① 生きがい・希望・好きなこと

相談支援事業利用開始時では、多くあるが7名(8.9%)、少ないがあるが41名(51.9%)、ほとんどないが24名(30.4%)、ないが5名(6.3%)であった。

一方、現在では、多くあるが15名(19.0%)、少ないがあるが54名(68.4%)、ほとんどないが6名(7.6%)、ないが2名(2.5%)であった。

このように、生きがい・希望・好きなことに関して相談支援事業利用開始時と現在とで改善が見られる傾向にあった。

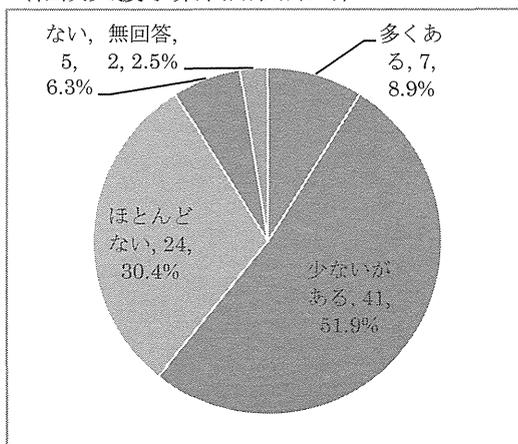
表 3 0 生きがい・希望・好きなこと

(相談支援事業利用開始時)

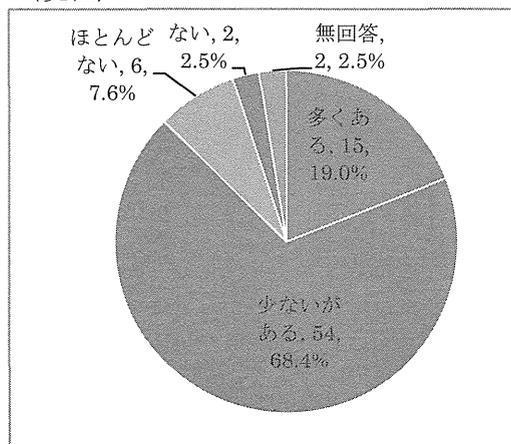
	度数	パーセント
多くある	7	8.9
少ないがある	41	51.9
ほとんどない	24	30.4
ない	5	6.3
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

	度数	パーセント
多くある	15	19.0
少ないがある	54	68.4
ほとんどない	6	7.6
ない	2	2.5
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図30 生きがい・希望・好きなこと
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



② 精神面の安定

相談支援事業利用開始時では、非常に安定しているが7名(8.9%)、少し安定しているが21名(26.6%)、あまり安定していないが28名(35.4%)、安定していないが21名(26.6%)であった。

一方、現在では、非常に安定しているが8名(10.1%)、少し安定しているが55名(69.6%)、あまり安定していないが13名(16.5%)、安定していないが1名(1.3%)であった。

このように、精神面の安定に関して相談支援事業利用開始時と現在とで改善が見られる傾向にあった。

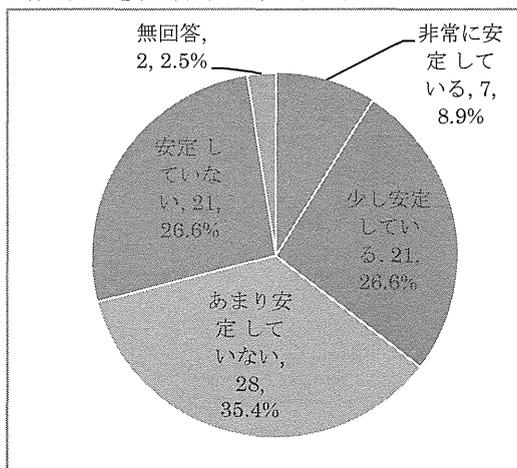
表31 精神面の安定
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
非常に安定している	7	8.9
少し安定している	21	26.6
あまり安定していない	28	35.4
安定していない	21	26.6
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

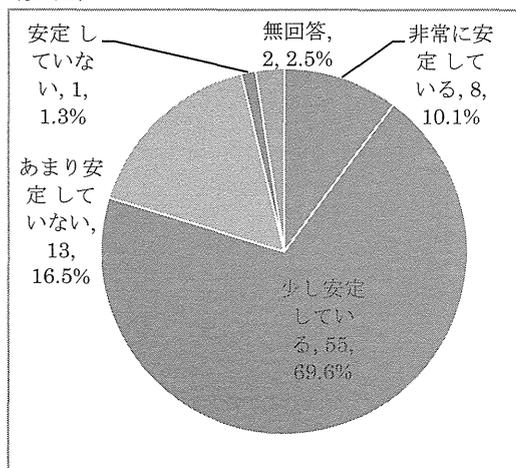
(現在)

	度数	パーセント
非常に安定している	8	10.1
少し安定している	55	69.6
あまり安定していない	13	16.5
安定していない	1	1.3
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図3 1 精神面の安定
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



3) 周囲との関係面

相談支援事業利用開始時と現在との周囲との関係面について、日中活動での人間関係、支援する人の存在、家族の存在を比較したところ、多くの項目で改善が見られる傾向にあった。

① 日中活動での人間関係

相談支援事業利用開始時では、多いが14名(17.7%)、少ないが15名(19.0%)、ほとんどないが30名(38.0%)、ないが18名(22.8%)であった。

一方、現在では、多いが22名(27.8%)、少ないが39名(49.4%)、ほとんどないが11名(13.9%)、ないが5名(6.3%)であった。

このように、日中活動での人間関係に関して相談支援事業利用開始時と現在とで改善が見られる傾向にあった。

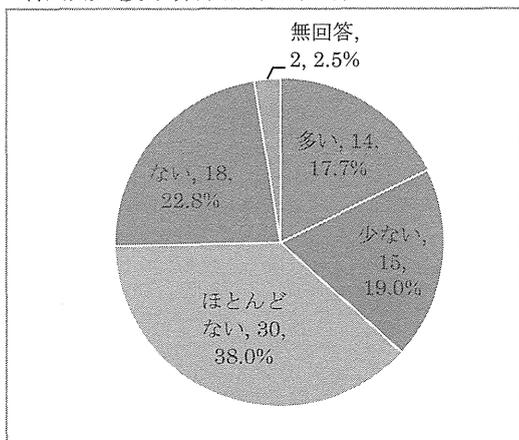
表3 2 日中活動の人間関係
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
多い	14	17.7
少ない	15	19.0
ほとんどない	30	38.0
ない	18	22.8
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

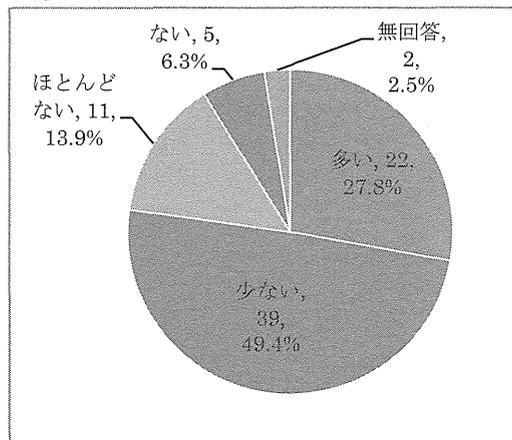
(現在)

	度数	パーセント
多い	22	27.8
少ない	39	49.4
ほとんどない	11	13.9
ない	5	6.3
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図 3 2 日中活動の人間関係
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



② 支援する人の存在

相談支援事業利用開始時では、多くいるが 12 名 (15.2%)、少ないがいるが 24 名 (30.4%)、ほとんどいないが 31 名 (39.2%)、いないが 10 名 (12.7%) であった。

一方、現在では、多くいるが 35 名 (44.3%)、少ないがいるが 38 名 (48.1%)、ほとんどいないが 4 名 (5.1%) であった。

このように、支援する人の存在に関して相談支援事業利用開始時と現在とで改善が見られる傾向にあった。

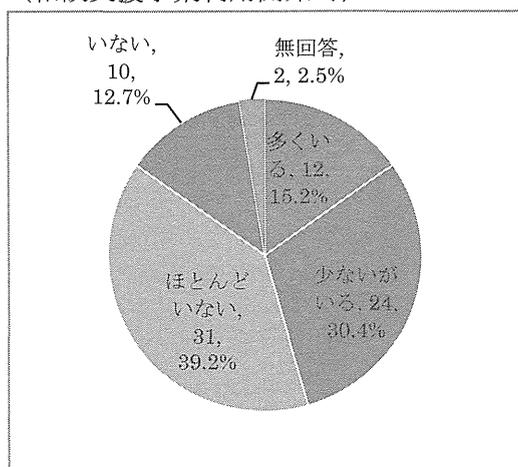
表 3 3 支援する人の存在
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
多くいる	12	15.2
少ないがいる	24	30.4
ほとんどいない	31	39.2
いない	10	12.7
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

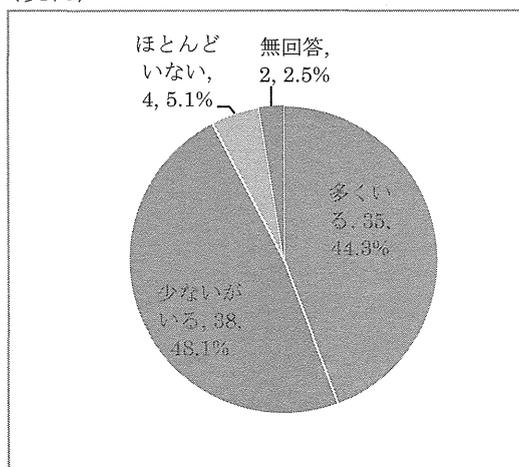
(現在)

	度数	パーセント
多くいる	35	44.3
少ないがいる	38	48.1
ほとんどいない	4	5.1
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図 3 3 支援する人の存在
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



③ 家族関係

相談支援事業利用開始時では、強い関係があるが 46 名 (58.2%)、弱い関係があるが 17 名 (21.5%)、ほとんど関係がないが 6 名 (7.6%)、ないが 8 名 (10.1%) であった。

一方、現在では、強い関係があるが 46 名 (58.2%)、弱い関係があるが 17 名 (21.5%)、ほとんど関係がないが 6 名 (7.6%)、ないが 8 名 (10.1%) であった。

このように、家族関係に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表 3 4 家族関係
(相談支援事業利用開始時)

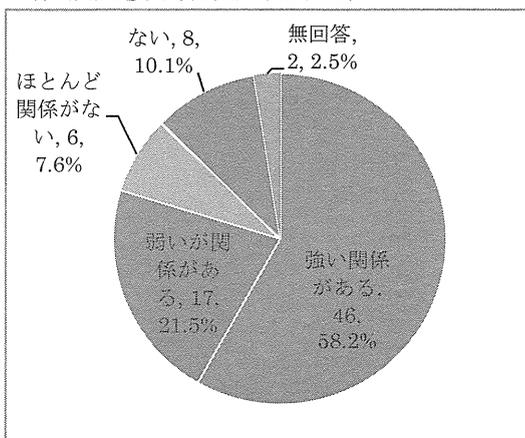
	度数	パーセント
強い関係がある	46	58.2
弱い関係がある	17	21.5
ほとんど関係がない	6	7.6
ない	8	10.1
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

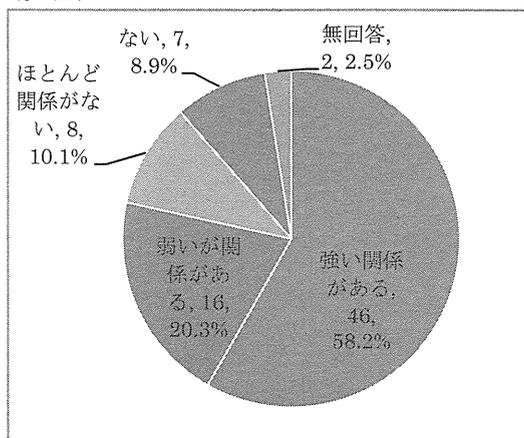
	度数	パーセント
強い関係がある	46	58.2
弱い関係がある	16	20.3
ほとんど関係がない	8	10.1
ない	7	8.9
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図34 家族関係

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



4) 健康管理

相談支援事業利用開始時と現在との健康管理を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

① 健康管理

相談支援事業利用開始時では、ひとりでできるが18名(22.8%)、見守り・指示があればできるが21名(26.6%)、少し手伝ってもらえればできるが20名(25.3%)、全部やってもらっているが18名(22.8%)であった。

一方、現在では、ひとりでできるが15名(19.0%)、見守り・指示があればできるが29名(36.7%)、少し手伝ってもらえればできるが21名(26.6%)、全部やってもらっているが12名(15.2%)であった。

このように、健康管理に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表35 健康管理

(相談支援事業利用開始時)

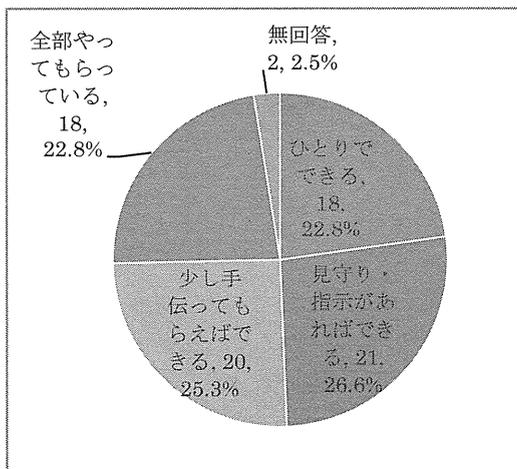
	度数	パーセント
ひとりでできる	18	22.8
見守り・指示があればできる	21	26.6
少し手伝ってもらえればできる	20	25.3
全部やってもらっている	18	22.8
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

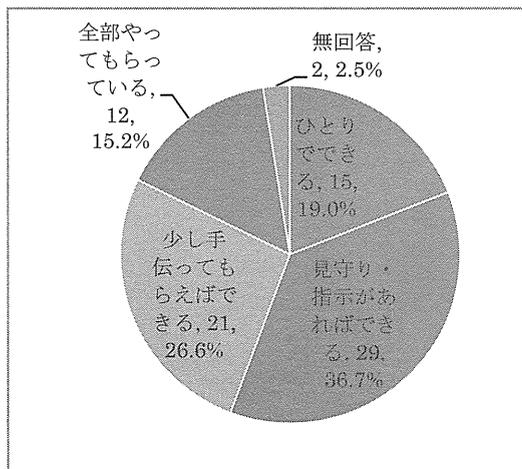
	度数	パーセント
ひとりでできる	15	19.0
見守り・指示があればできる	29	36.7
少し手伝ってもらえればできる	21	26.6
全部やってもらっている	12	15.2
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図 3 5 健康管理

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



5) 経済生活・経済環境

相談支援事業利用開始時と現在との経済生活・経済環境について、金銭管理を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

① 金銭管理

相談支援事業利用開始時では、ひとりでできるが 18 名 (22.8%)、見守り・指示があればできるが 21 名 (26.6%)、少し手伝ってもらえればできるが 20 名 (25.3%)、全部やっでもらっているが 18 名 (22.8%) であった。

一方、現在では、ひとりでできるが 15 名 (19.0%)、見守り・指示があればできるが 29 名 (36.7%)、少し手伝ってもらえればできるが 21 名 (26.6%)、全部やっでもらっているが 12 名 (15.2%) であった。

このように、金銭管理に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表 3 6 金銭管理

(相談支援事業利用開始時)

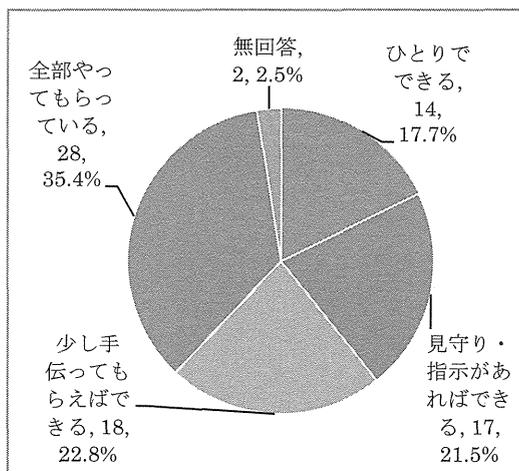
	度数	パーセント
ひとりでできる	14	17.7
見守り・指示があればできる	17	21.5
少し手伝ってもらえればできる	18	22.8
全部やっでもらっている	28	35.4
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

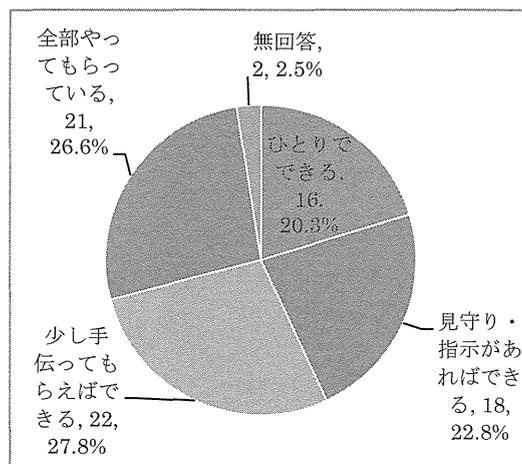
	度数	パーセント
ひとりでできる	16	20.3
見守り・指示があればできる	18	22.8
少し手伝ってもらえればできる	22	27.8
全部やっでもらっている	21	26.6
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図 3 6 金銭管理

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



6) 移動

相談支援事業利用開始時と現在との移動について、移動・交通機関の利用、住宅内の移動を比較したところ、全ての項目で大きな変化は見られなかった。

① 移動・交通機関の利用

相談支援事業利用開始時では、ひとりできるが 30 名 (38.0%)、見守り・指示があればできるが 13 名 (16.5%)、少し手伝ってもらえればできるが 18 名 (22.8%)、全部やっってもらっているが 16 名 (20.3%) であった。

一方、現在では、ひとりできるが 30 名 (38.0%)、見守り・指示があればできるが 15 名 (19.0%)、少し手伝ってもらえればできるが 18 名 (22.8%)、全部やっってもらっているが 14 名 (17.7%) であった。

このように、移動・交通機関の利用に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表 3 7 移動・交通機関の利用

(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
ひとりできる	30	38.0
見守り・指示があればできる	13	16.5
少し手伝ってもらえればできる	18	22.8
全部やっってもらっている	16	20.3
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

	度数	パーセント
ひとりできる	30	38.0
見守り・指示があればできる	15	19.0
少し手伝ってもらえればできる	18	22.8
全部やっってもらっている	14	17.7
無回答	2	2.5
合計	79	100.0